



21.10.17 聖日-2

だれも教えてくれないこと Iサム 16:15-23

序 - 権威味わい	本 - 権威使用	結 - 権威満たし
1. 王 - 悪霊 1) 政治家 2) 専門家 3) 医者 2. 契約持った者 3. 今 1) <u>アメリカ - ネフィリム</u> ヨーロッパ (病人) 2) 日本 3) - 237	1. 理由 1) 原因 (3, 6, 11) 2) 苦闘 (13, 16, 19) 3) 話せない問題 (6つ)	2. 解答 1) 権威 創 3:15 出 3:18 Iサム 16:13 2) 力 Iサム 16:23
		3. 未来 1) 強大国 2) 偶像 3) イスラエル 回復 1. RT 7 2. ダビデ 3. 初代教会
		サタンひざまづく

Iサム 16:15-23

- 15 そこでサウルの家来たちは彼に言った。「ご覧ください。わざわざをもたらす、神の霊があなたをおびえさせているのです。
- 16 わが君。どうか御前にはべるこの家来どもに命じて、じょうずに立琴をひく者を捜させてください。わざわざをもたらす、神の霊があなたに臨むとき、その者が琴をひけば、あなたは良くなられるでしょう。」
- 17 そこでサウルは家来たちに言った。「どうか、私のためにじょうずなひき手を見つけて、私のところに連れて来てくれ。」
- 18 すると、若者のひとりが答えて言った。「おります。私はベツレヘム人エッサイの息子を見たことがあります。琴がじょうずで勇士であり、戦士です。ことばには分別があり、体格も良い人です。主がこの人とともにおられます。」
- 19 そこでサウルは使いをエッサイのところに遣わし、「羊の番をしているあなたの子ダビデを私のところによこしてください」と言わせた。
- 20 それでエッサイは、ろば一頭分のパンと、ぶどう酒の皮袋一つ、子やぎ一匹を取り、息子ダビデに託して、これをサウルに送った。
- 21 ダビデはサウルのもとに来て、彼に仕えた。サウルは彼を非常に愛し、ダビデはサウルの道具持ちとなった。
- 22 サウルはエッサイのところに人をやり、「どうか、ダビデを私に仕えさせてください。私の気に入ったから」と言わせた。
- 23 神の霊がサウルに臨むたびに、ダビデは立琴を手にとって、ひき、サウルは元気を回復して、良くなり、わざわざの霊は彼から離れた。

要約

△今日、私たちが受ける答えのタイトルは誰も教えてくれないことだ。世の中では誰も教えてくれないことを私たちがするように神様がくださったのだ。それゆえ「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」と言われた。それゆえ、誰もできないこと、私たちがすることができるのだ。この権威を味わうことだ。

□序論_権威味わい

1. サウル王ー悪霊につかれた。(主の霊はサウルを離れ、主からの、わざわいの霊が彼をおびえさせた。)

- 1) 多くの政治家
- 2) 専門家
- 3) 医者

2. 契約を持った者ーこの人々ではいやすことはできない。神様の契約によっていやすのではなく、契約を持った者の力で神様がいやされるのだ。

3. 今

- 1) アメリカーネフィリム

悪霊につかれた者が多い。精神病者は医者の助けを受けることができるが、悪霊につかれた者は、医者がいやすことはできない。3 団体は、本格的に悪霊につかれるようにさせる働きをしていて、ネフィリムの行事を行いながら瞑想する大学をたてた。BTS もそこを卒業した。教会が夢にも見ないことを、悪霊につかれた者がしているのだ。

ヨーロッパー同性愛チームを組んで雰囲気を掌握している。

- 2) 日本ー完全に悪霊につかれて道で話す人が多い。悪霊文化によって表に出ないように、社会生活ができない人が多い。80 パーセントの人々が、相手と目を合わせることができない。
- 3) 237ー韓国と 237 も深刻だ。

□本論_権威使用(ダビデはこの権威を味わっていただけではなくて使用した)

1. 理由(ダビデは理由を知っていた)

- 1) 原因ー創 3、6、11 章で、多くの人々が悪霊につかれて霊的問題がくるのにその原因を知らない。
- 2) 苦闘ー使 13、16、19 章(魔術師、占い師、偶像崇拜者を訪ねて行く)に、苦闘としながら宗教、教会を訪ねて行く。教会に行っても、福音を悟れなければ宗教と同じことだ。
- 3) 話すことができない問題ー 6 つの運命に陥っている。サタンに捕えられて偶像に陥って、精神の病気、肉体の病気がきて、地獄背景で生きて、子どもも同じ人生を生きるようになった。

2. 解答

- 1) 神様がくださった権威

ー創 3:15 女の子孫がサタンの権威を踏み砕いたのだ。

ー出 3:18 血を塗った日、暗やみの権威を打ち砕いた。

ーI サム 16:13 この日以来、主の霊が激しく下った。

- 2) 力(神様がくださった権威があなたに臨むとき)

ーI サム 16:23 賛美をするのに、サウルについての悪霊が離れた。このことは、ダビデだけにあるのではなく、ずっと起きていることだ。マルティン・ルターは賛美の人だった。私たちが礼拝のとき、賛美するとき、悪霊が離れるのだ。

3. 未来に対する解答

- 1) 強大国ーペリシテに対する未来を知っていた。

- 2) 偶像ー聖書は偶像崇拜に対する預言がある。

- 3) イスラエルー福音を持って味わうことができないイスラエルがどうなるのかに対する預言がある。

△この三つの滅亡に対して、話すたびに世の中が誰も教えることができない答えを知っている人を通して回復すると言われた。これを見る目がなければならない。

△神殿建築を進める前に、237、いやし、サミットをきちんと準備しなければならない。大きい施設が必要なだけでなく、その内容が重要なのだ。237 に合う照明、放送システムを準備しなければならない。

□結論_権威の満たし

△サウル王から追い出された悪霊は、機会になればまた訪ねてくる。しかし、ダビデには来なかった。来てみても無駄だった。これが重要だ。サタンが完全にひざまずかせなさい!

1. RT 7 人ーサタンを完全にひざまずかせた。ヨセフの兄たちとポティファルは、ヨセフが復讐すると思ったが、ヨセフは強大な世界総理になったが「神様が私を先に送られた」と言った。

2. ダビデーサウル王がダビデを触ったが、ダビデはまったく動じず、サタンをひざまずかせてしまった。

3. 初代教会ー初代教会がこれを完成した。

△今まで何かうまくいかないと考える人は、本当にすべきことがあるためだ。心の中に、祈りの中にセッティングされるだけ答えがくるだろう。

全文打ち出し翻訳

今日、みなさんが受ける答えとタイトルは、誰も教えてくれないことです。世の中で誰も教えてくれないのです。それゆえ、みなさんがこれをしなさいと、神様がくださったのです。ですから、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる資格をお与えになったと言うべきなのに、特権をお与えになったと言われている。誰もできない、これをみなさんができるのです。この権威を味わうのです。さあ本論に入って、この権威を使うのです。この権威に満たされれば、どんなことが起きるのでしょうか。

□序論_権威の味わい

1. 王-悪霊

ダビデにあったことです。今日の本文を見ると、このサウル王が悪霊につかれました。「主の霊はサウルを離れ、主からの、わざわいの霊が彼をおびえさせた。」さあ、このような状況を一般の人々は分かりません。何でしょうか。

1) 政治家

このサウル王のそばには多くの政治家たちがいます。

2) 専門家

何かの専門家もいます。

3) 医者

医者もいます。いやすことはできません。この人たちがいやせるなら、誰も知らず、誰もできないことではありません。みなさんが必ず記憶すべきです。

2. 契約を持った者

神様の契約でいやしたのではなく、この契約を持った者の力によって、神様がいやされるのです。簡単に話せば、みなさんが、彼らをいやすことができる、その話です。もう一度見てください。誰も教えてくれません。

3. 今

今現在起こっていること見てください。本当に詳しく見てください。私たちの Remnant がメッセージ聞く時は分からなかったけれど、行って見て分かったと言うでしょう。かなりとても深刻です。アメリカに住めば、大人たちは分かりません。大人たちが「いや、そこまでではない」自分たち見たことは、そうだということです。その話を聞いてすぐに、後から私に Remnant が違うと言うのです。大人たちは知らないと言うのです。私たちの子どもたちよく教えてから送らなければ、霊的問題、すぐ麻薬に陥ります。

1) アメリカ-ネフィリム(病人)

今、アメリカの中に精神病患者程度ではなくて、悪霊につかれた者がいっぱいになりました。似ているのですが、精神病患者と悪霊につかれた者とは、またちよっと違います。どこが違うのでしょうか。精神病患者は精神が弱くなって問題がきたということです。ある面では、その人は医者の助けを受ければ助けることができます。医者の言うとおりにしないで、医者の言うとおりによくすれば、私が精神的な部分が自分に助けになるということです。ところが、この悪霊につかれた者、これはできません。これは医者もできず、政治家もできず、何もできません。このように、この3団体は本格的に悪霊につかれさせる事をするのです。驚くことでしょう。とても賢く、科学的に発展したアメリカが、悪霊につかれることをしています。

みなさんは教会にきて、聖日礼拝を一度ささげて行くことも大変なのに、3団体のうちで、フリーメイソン会館に行ってみてください。毎日集まります。そして、その集いがみな違います。私たちが行って見たところ、私たちを見て「フリーメイソンですか」と尋ねました。「違います」と言ったら、「ああ!訪問ですか」そうだと言ったら、また別に案内してくれます。「韓国から来た」と言ったら、韓国の資料をくれました。すでに6.25(朝鮮戦争)当時に入ってきていました。ところが、自分たちのチームの集まってする行事があります。とても悪いことばですが、私たちのことばで表現すれば、霊にとりつかれることをするのです。その人々は、法事やお祓いはしません。完全にネフィリム行事を行うのです。今、アメリカが問題です。ネフィリム行事をするのですが、アメリカの政治家たち、また、キリスト教徒、誰も問題になるということを知らないのです。

ネフィリム学校を建てました。その学校が瞑想する大学です。そこを韓国の BTS が卒業しました。本当に止められません。どのように、その子を連れて行ったのか。連れて行って、BTSがこのフリーメイソンの瞑想学校を卒業したのです。今、教会は誰も考えないのですが、教会は何の考えもありません。考えても、神様の計画が何かということを考えないで、私の考えだけするでしょう。ところで、この人たちを見てください。今。その後、また、BTSをバックアップするのです。ですから、見てください。UNにも行って演説したでしょう、アメリカ、その中にも行きました。韓国も今、仕方ないから、大統領も気を遣わなければなりません。あきれた作業をしています。BTSを助けたことが悪い、その話ではありません。良く言えば、教会は夢にも見ることをできないことを、この悪霊につかれた人々がしていま

す。

ところで問題は、それではありません。後に目に見えないように、悪霊につかれた病人がアメリカにいっぱいになっているのです。みなさんがどれだけ重要な人かということを知らなければなりません。権威を味わっているだけでもかまいません。行って何か、ダビデが行って何かしたことがありますか。ダビデは味わっていただけだったのに、ダビデを呼んだのではないのでしょうか。呼んでおいて、立琴をひいたら、悪霊が逃げたのです。これを誰が何と言うのでしょうか。権威を持っているからです。みなさんが持っているのです。

そして、アメリカには今、悪霊につかれた者がいっぱいになりました。Remnantに、いつも話すでしょう。アメリカに行けば、裏路地やそのようなところに気を付けなければなりません。人々が悪霊につかれておいてまた、麻薬をします。すると麻薬をすると、麻薬をした人に尋ねて、どんな気持ちかと尋ねたら、およそ 10 倍になるということです。それで 10 倍になるから、後ろを振り返って見ると、他の人が歩いてくるのに自分には追って来るように見えます。それで正常には、そのまま私の横に過ぎ去ります。ところで、この麻薬をすると、10 倍でそれを見るから、自分に飛びかかって来るように見えるということです。その麻薬をした人が言った話です。私に。すると、どうするかというと、逃げたり、そうでなければ攻撃したり。

本当におかしな世の中になりました。このような人々がなぜいるかというのではなく、アメリカにはいっぱいになりました。ですから、公園のようなところに、夜のようなときに行ってはいけません。特に、私たちの若い学生たち、女子学生は無条件に攻撃されます。なぜなら、まともな精神状態ではないからです。

ヨーロッパ

ところで、ヨーロッパはまた少し違います。ヨーロッパはまた、アメリカと少し違っていますが、その人々は、ものすごく、同性愛、そのような側にまた、たくさん行きます。それをしよう、してはならない、悪い、良い、そういう以前に、これを本格的にチームを組んでするということです。そして、多くの学生たちがその環境に入って耐えることができなくなります。この程度です。私たちが話す、その政治的にこうしたことをしなさい、してはならない、このような水準ではありません。それは、ずっと水準が低いのです。ヨーロッパでは、今、そのような状態ではないということです。ですから、私たちが、大人たちがとても何かを知らずにいるのです。今、そのような程度ではなく、Remnant1 人が入ったが、初めには気づかなかったそうです。全部すべてそうで、同性愛をする人々だと。ところで、その子の話では、全部すべて。ですから、自分一人だけしないということです。どうなりますか。そこが芸術する所ですが、合わせてこそ芸術ができるのですから。本当に深刻です。それが正しい、正しくない以前に、誰かはしてもかまわなくて、しなくてもよいとなるべきなのに、しなくてはならない雰囲気になっているのです。

2) 日本

今、みなさん日本のようなところは、道で話す人が多いです。完全に悪霊につかれています。日本の使命者は、本当にこれを祈らなければなりません。なぜならば、日本が完全に悪霊が文化を... どの程度そうか、表に出しません。ニュースに出ず、新聞に出ないのです。恥ずかしいでしょう。ところで、社会生活ができないほど多いです。私が見るには、一軒に一人ずついると考えたのですが、日本人が話しました。「一軒に 2 人程度はいます」ということです。日本人が私に話しました。今、日本新聞に載っていました。新聞に載ったのですが、日本語知らないから、書いてあったのが何かが 80 パーセントとあったので、私が尋ねたました。日本人にです。そのこれは何の話かと尋ねたところ、日本の人々はおよそ 80 パーセントの人々が、相手の目と合わせられない。そう書いてありました。新聞に。つまり、このように見つめることができないうことです。そのようにする内容 80 パーセントですが、自分なりの理由を書いています。その程度は、まだ大丈夫ですが、私はそれを話すものではありません。悪霊につかれて、日本には道で一人で何か話して、行動して、すべてします。このようなことが、多いです。これを今、政治家たちや、このような人々が偶像崇拜するのですが、誰がこれを止めますか、これを。

3) 237

今、私たちの韓国と 237 にも深刻です。特に 237 か国に、とても深刻です。みなさんがどれだけ大きな答えと祝福と使命を持っているかということを知っていなければなりません。

□本論_権威使用

1. 理由

このダビデはこの権威を使うのです。権威を味わってばかりいるのではなく、使うのです。その理由がなんでしょうか。理由を知っているから。この人は、全部理由を知っていませんでした。

二つ目です。この人は誰も教えてくれないから、分からないのです。理由を知らないから、解答も分かりません。みなさんは、少なくとも理由を知っているでしょう。ダビデは理由を知っていました。それゆえ、答えも持っています。さらに重要なのが三つ目です。このダビデは未来に対する理由を知っていました。みなさんがこれを分かれば、権威を使うことができます。

1) 原因(3、6、11)

今、多くの人々が自分自身も分からない、原因を知りません。私が悪霊につかれて霊的問題きたのですが、私がなぜこ

うしているのか原因が分からないのです。それが創3、6、11なのに、少しだけ悟ってしまえば「私」ということだけ下ろしてしまっても、働きが起きるのですが、これが原因です。

2) 苦闘(13、16、19)

原因を知らないのです、やたら苦闘するのです。そこで、宗教を訪ねて行って、苦闘するのです。さらに教会にも行って、教会に行って福音を悟れなければ宗教に行くのと全く同じです。それゆえ、このように(13、16、19)なるのです。パウロが見つけたのです。そうです！パウロ、すごいです。ここに訪ねて行って使13、16、19章。みな病んでいるのに、魔術師、占い師、偶像崇拜する者を訪ねて行きました。なぜでしょうか、人々がここで苦闘しているから。

3) 話すことができない問題(6つ)

そして、この未信者は悪霊につかれた問題が来たことを感じて、話すことができません。この話をするのが大変なのです。ですから、みなさんの伝道と祈りがどれくらい重要かということを知っていなければなりません。なぜそうなのかというと、六つの状態に陥っています。自分は自分の思うとおりに生きていたのに、分かってみたら、サタンに引きずられて生きています。運命がサタンに捕えられているのです。私も知らない間に、教会に通っていても、宗教団体に行っても関係なく、偶像に陥って、本当に福音が分からなければ偶像に陥るのです。今、このような状態にあります。誰も世の中の人々は関心がなくて、聖書には重要に話しています。そして、精神病になって、肉体の病気になって、知ったところ、背景も完全に地獄で、このように.. そんなに自分は親に似ないと思っていたのに、子どもが同じようになって.. 本当に不思議です。お母さんが霊媒師になったことを見て、自分は絶対にしないと書いていたのに、それにまたなります。

2. 解答

解答がないから。みなさんは理由を知っていて、解答を知っています。その解答はなんでしょうか。

1) 権威—創3:15、出3:18、Iサム16:13

それは、神様がくださった権威です。

神様がくださった権威が私に臨むときに、力になります。創3:15、ものすごい権威です。「女の子孫が蛇の頭を踏み砕く」このことばは、権威を打ち破る。出3:18に「血を塗る日解放された」このことは、暗やみの権威を打ち破ったということです。Iサム16:13に、この日以来、これを分かった日以来、主の霊が激しく下ったのです。

2) 力—Iサム16:23

これが今、力として現れるのです。23節です。賛美をするのに、サウルについていた悪霊が離れてしまったのです。ところで、この悪霊が「賛美するときに離れた」ということは、ものすごい意味を持っています。この悪霊が逃げたということでもありますが、よく14節見ると、このようになっていきます。「主の霊はサウルを離れ」そうになっています。ところで「悪霊がサウルに」となっていない、「主からの、わざわいの霊が」こう言われています。それでは、神様が悪霊を送るのでしょうか。そういうことではありません。主の霊が離れて悪霊が臨んだのですが、その悪霊も主が動かされるのです。そうでしょう。サタンが世の中を自分の思いのままにするではありません。神様がどのように働かれるかが重要ですが「ダビデが賛美するときに、この悪霊が離れた」となっています。

この話から私たちがキャッチできるのは、みなさんの賛美が何かを知りなさいということです。みなさんが本当に一人で、また、あるいは礼拝のとき、賛美をどのようにするかで違うのです。賛美を、みなさん！時間を待つためにせずに、本当にするならば、すべての悪霊が離れます。ものすごいことが起こるのです。これがダビデにだけあったのではなくて、続いてありました。さらにあの教会史でマルティン・ルターに起きたのではないですか。マルティン・ルターは賛美の人ではないですか。このように、今、答えを知っているのです。私の力で行うのではなく、上からの権威を持つるので、とても重要なのです。

みなさんがイエス・キリストの御名で、権威で祈りますね。答えが来るか、来ないか、みな来るのです。その問題がいつか答えに変わったのか、みなさんと関係なくなったのか、なににしる正確にきます。みなさんがそうなりますが、未信者には大きい問題になります。悪い霊が臨んだら、未信者にはどれだけ問題になるか、自殺しなければならぬほど、問題になります。自殺した人々をよく見れば、最後まで耐えれば大きな問題でもないことを、そのまま自殺します。殺害です。有名な人々が自殺した何人かを見れば、そのようにするほどの内容でもないのにすることあります。なぜそうかということ、そのために自分が崩れてしまうのです。わざわいがみなさんに近づかないとは言われていません。わざわいが近づいてきても、みなさんを害することができない。これをダビデが知っていたのです。さあ、ダビデはそれで終わったものではありません。

3. 未来

1) 強大国

今後、特にペリシテに対する未来をダビデは知っています。

2) 偶像

そして聖書は、偶像に対する預言、とてもたくさん出ています。さらに重要なことは、聖書には三つ出てきています。

強大国が今後どうなるのか預言、偶像崇拜どうなるのか預言があって、その次に

3) イスラエル

この福音を持っているのに、味わうことができないイスラエルがどうなるか、という預言です。この三つの滅亡を話すたびに必ず出てくることがあります。何が出て来るでしょうか。この重要な世の中が誰も教えることができない答を知っている人を通して回復される。これを見る目がなければならぬのです。信じないでも、成り立つことですが、みなさんが信じれば、みなさんと時間が合うのです。

神殿建築を進める前に、みなさんが釜山、ソウルと合わせますので。237 いやしサミットをどのように準備するのか。これをきちんと準備しなければなりません。そして釜山もソウルも蔚山も、ちょっと疎通をすべきでしょう。なぜでしょうか。建築をしているため、内容を今、作っています。本を私が5冊紹介したのですが、間違ってみなさんが理解すれば、その本が答えだと思うのですが、そうではありません。たくさん間違っています。多く間違っているのですが、その人々が働きを起こしたことをひとまず見るということです。世の中の人々がしている、その呼吸があるでしょう、丹田呼吸。霊的に完全にでたらめです。でたらめなのになぜ見ろと言うのでしょうか。何をしているのか見なければならぬのではないのでしょうか。見なさいということです。そして、237 いやしサミットに私たちが答えを出そうとするのです。ある面では、私の生涯で残す作品を作ろうとしているのです。それゆえ、大きい施設が必要ではありません。内容が問題です。ですから、他の団体からインマヌエルソウルでも、釜山でも、蔚山に来てみて、「おっ!これその人々のことなのか」このようになってはいけません。そうでしょう。「おっ!これはどの団体で作った資料なのか」知ってみたら、自分たちのものだ。そうなってはいけません。そのようなことは、法的に許可をもらって、表示をして、修正すべき部分も話して、その次、私たちのもの答えとして出さなければなりません。これが重要です。

みなさんが必ず握って作らなければなりません。神様は、みなさんに 237 か国の祝福を与えたいと思っておられるのですが、準備がまだできていません。準備できている教会がありません。ひとまず、建築するときは、本部と話しますので、照明、それから中の放送システム、全部 237 と合わなければなりません。ですから、237 センターには 30 個のブースを作って、このような人々が来て、休息して自分で味わえることを見つけられるシステムを作りなさいと言いました。無理にすれば良いのですが、このような照明は全世界に出せば、分かりません。通じません。建築するときに参考にしてください。それに気づいてハナ教会では、すべてを 20 億で直しています。今。大邱です。世界に送り出す放送を送りだしてみれば分かります。送りだしてみれば、ああ!これが色といろいろなことがちがうことを知るようになります。ですから、長老が自ら立ち上がって、私たちの世界福音化しなければならない準備をすると、すぐにこうしておいて、今回 20 億とても予算を策定して今、準備しています。これだけするのに 20 億。私がこの話をなぜするのでしょうか。237 という単語は誰でも使えます。それが実際に準備できている教会はありません。それを準備するというのです。インマヌエルソウル、蔚山、釜山、今から準備してください。そして、同じだから、疎通して何の内容をどのように進めているか、それを確認しなければなりません。めくらめっぽうに作れば、後ほど非難されます。非難されたり、次世代の前に失望を与えて、本当に法的に問題が起きます。ですから、正しく作らなければなりません。未来。この準備されたところに、神様は注ぎ込まれるようになっていきます。とても難しく考えずに、みなさん小学生を見て、お金を何億かを与えますか。与えないでしょう。そのように考えれば良いのです。ア、みなさんが死ぬ時になって、お金がたくさんあれば、誰にでも、幼稚園生に与えて、ならば、それは違うでしょう。使えそうな息子に与えるでしょう。そうでしょう。また、そうでなければ何か献金をする時も、強固な教会にすべてするので、教会が毎日戦って殴り合っているところにはしません。そうでしょう。どの団体でも自分の財産をみなささげるときも、その団体が強固でこそ、毎日泥棒のように害があるのに、そこにはしません。そうではないのでしょうか。私たちが余裕をもって 237 いやしサミットの準備がしっかりとできている教会であるべきです。

例えば、みなさん、歌手が、このごろ放送にたくさん出て来るでしょう。ただ歌を上手にする人が出てきたとしても、長くしている人とは違うでしょう。すでにこの歌が。未来の準備をしなさい。理由と解答と未来を知ることが権威を使うことです。

□結論_権威満たし

サタンをひざまずかせる

結論です。サウルに追い出された悪霊はまた戻ってきます。そうでしょう。ダビデには来ません。来ても無駄です。これが重要です。それを私たち教会が、この蔚山インマヌエル教会が権威で満たされることです。必ず記憶しなければなりません。サタンをひざまずかせてしまわなければならぬのです。追い出されるだけでは、だめだということです。追い出されるのに、なぜ追い出されますか。仕方なく、行くのです。そうでしょう。機会があれば、また、来るのです。これが追い出されることです。しかし、サタンがインマヌエル蔚山教会にひざまずいてしまった。それは、言うことがありません。

1. RT 7

Remnant 7 人。サタンをひざまずかせました。今、ダビデの話が出てきたので、二人だけ例をあげてみましょう。

ヨセフの兄たちとポティファルは、ヨセフが復讐すると思っていました。そうでしょう。そうできます。ヨセフは今、強大な総理になりましたから。ことばはエジプト総理であって、世界総理です。そうではありませんか。ところが、ヨセフは触りませんでした。さらに、兄たちがお願いしました。そのときに言った話ではないですか。違うと言いました。神様が私を先に送られたと言いました。サタンが完全ひざまずきました。これがダビデです。

2. ダビデ

旧約にもヨセフとダビデが、どれくらいサウル王が触りましたか。こらえたのではありません。ダビデはまったく動じませんでした。そうでしょう。どの程度、動じなかったのでしょうか。いたずらをしたのです。みなさんのようならば、ダビデが洞窟に隠れているのに、軍隊を連れてサウル王が探しにきて、寝ていたのではないですか。このダビデが、どれだけ味わっていたかという、王の服を刃物で切ったのではないですか。王が出て行くときに呼んで服を見せたでしょう。いたずらをしたのでないなら、なんですか、これは。ダビデを殺そうとすべての山を歩いて王が寝て、そばに警護員がいました。その水さしを持って槍を奪い取ってきたのではないですか。ダビデは、何を話すのでしょうか。まったく動じなかったのです。サタンをひざまずかせました。これがダビデです。

3. 初代教会

後に出てきましたが、私たちの蔚山にある教会が悟らなければならないことは、初代教会がこれを完成したのではないですか。

自分は今まで何かうまくいったことがないと思う方がいますが、私はそのように考えません。みなさんが本当にしなければならぬことがあるのです。本当にしてください。本来、神様の民でない人は、何でもしてうまく行って死ぬのです。ところが、神様の民はそうではありません。本来、親がいない孤児は、どこでも歩き回って死ぬのです。それをうまくいったと考えることはできません。親がいる人は、幼い子どもたちにどこでも行けないように制裁して、止めて、捕まえて、このようにします。なぜでしょうか。死んではならないから。

今回、建築とみなさんの人生と蔚山と世界、重要な時刻表を作るべきです。みなさんの心の中に祈りの中にセッティングされただけ答えが来るでしょう。祈ります。

祈り

すべての栄光を神様が受けてください。私たちの福音を持つ主の民を通じて地域が活かされるように祈ります。今日、1部で「一度もなかったことを味わう教会」になりますように。今日2部で「誰もできないこと」ができる恵みを与えてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン